校訓 渾身勉学 白鳥蘆花に入る

白　鳥

学校教育目標
夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成

令和８年度
千代田東部小学校学校だより
NO.21
令和８年 9月18日
文責 筒井 学

東部小HP

神埼市　子ども能楽教室（5・6年生）



9月10日（木）　千代田中部小、千代田西部小、脊振小と合同で、子ども能楽教室に参加しました。

7月に本校に来ていただいた能楽師の多久島法子先生にご指導いただき、練習を重ねてきた子どもたちの「仕舞披露」は、「小学生がここまでできるのか」と、驚くほどの出来栄えでした。謡（うたい）や動きが、どのような気持ちや様子を表しているのかについての解説もあり、私のような初心者でも能楽の世界をじっくり味わうことができました。



「能楽博士クイズ」や「能面体験」など、子どもたちが思わず歓声を上げたり笑顔になったりする場面もありました。

写真では伝わりにくいですが、能面には妖精や動物を表したものなど様々な種類があることも学ぶことができました。



最後は、多久島 利之先生と多久島 法子先生による仕舞を鑑賞しました。謡も動きもさすがに見事で、子どもたちも食い入るように見つめていました。



表彰しました！ 50選達成者＆多読賞（130冊）



4月7日の始業式から今日まで、登校した日を数えると89日間です。その間に、こんなにたくさんの本を読むことができたなんて、本当にすばらしいことだと思います。



今回、賞状を受け取った子どもたちは、読書の楽しさを感じているのではないかと思います。そうした子どもたちが、もっともっと増えてほしいと思い、「なぜ、読書は楽しいのか」と、少し考えてみました。

〇本を通して自分の知らない世界を旅したり、登場人物の気持ちに共感したり、さまざまなことを想像したりできて楽しい。
〇知りたいことを知ることができる。
〇心が落ち着く時間を味わうことができる。

など・・・他にもたくさんありそうです。保護者の皆様は、どうお考えでしょうか。



まだ、残暑が厳しい日もありますが、こおろぎの鳴き声などに秋の深まりを感じる場面も増えてきました。学校では、50選達成者・多読者の表彰、図書館祭りなど読書を推奨する取り組みを行っていきます。ご家庭でも読書の楽しさについて話題にしていただき、お子さんが本を手にする機会を増やしていただけると幸いです。